

パソコン

タブレット  
スマホ

清水てつじホームページ

<http://shimizu-tetsuji.jp>

清水てつじ



# 清水てつじ



## 人口減少を見据えた滋賀県の 移住・定住政策について

**Q** 中山間地域への移住・定住を促す空き家活用も含めた住まいの確保についてどう取り組むか

**A** **知事** 空き家活用も含め住まいの確保を支援し、市町の空き家バンクや施設等の情報を集約し、ポータルサイト等で積極的に発信するなど市町と連携して取り組みます。

**Q** 人口減少が進む地域の廃校活用について、市町の取り組みに対してどのような対応されるか

**A** **知事** 市町が地域の実情や思いに応じた活用方法を検討できるよう先進的な取り組み事例の情報提供を行なうことや市町の廃校施設の情報を発信を県ホームページで行う予定で、活用可能な交付金等の照会など必要な支援を行ないます。

**Q** 早くから人口減少が始まった地域は必死に取り組んでいる。市町では発信力が弱いと思うので県としての取り組みを再度伺う

**A** **知事** 危機感を持っておられる市町の取り組みをしっかりサポートできるように広域的な発信機能やマッチング、制度の補完等でサポートできるように力を入れて取り組みます。



## 一般質問に立つ (2月定例会議)

## 滋賀県の林業・ 木材産業について

**Q** 本県の林業状況をどう捉えているのか

**A** **琵琶湖環境部長** 本県の人口は成熟期を迎えており、有効利用することが重要で、生業としての側面を重視した取り組みが必要で、林業従事者は大きく減少する一方で、50歳未満の割合は増加しており、新規就業者の技術の習熟が望まれます。水源涵養機能を発揮させ、森林資源を有効利用する必要があります。

**Q** 森林組合にどのような役割を期待し、経営指導を含めどのような施策を講じようとしているのか

**A** **琵琶湖環境部長** 森林組合の木材生産効率の向上を図るため、高性能林業機械の導入に支援を継続し林業技術者の養成、技術指導を充実してまいります。「森林組合マネジメント強化事業」に取り組み経営基盤の強化も図ります。

**Q** 公共建築への県内産木材の活用状況と木材需要拡大に向けた取り組みについて

**A** **琵琶湖環境部長** 県立高校の教室内装の木質化や自然体験学習施設、福祉施設の整備のほか昨年度から警察官駐在所施設の県産材を活用した木造化の取り組みが始められました。ハードとして学校の木製学習机、公共施設等への木製品導入により、木にふれあう機会の創出を図っています。

**Q** 県内産木材の販売促進するための取り組みについて

**A** **琵琶湖環境部長** 用途に応じた木材の選別を適切に行い、需要先に応じた販売を展開していくことが、木材を無駄なく使え、林業・木材産業の体質強化につながるかと考えます。



関西広域連合会議3月議会



3月10日、与党検討委員会で上記のように

①米原ルート ②小浜・京都ルート ③舞鶴ルート  
の3案に絞られました。

## 編集後記

3月5日に行われた関西広域連合議会3月議会で、「北陸新幹線敦賀以西ルート」について、一般質問をさせていただきました。

この問題は、2月17日に突然にJR西日本真鍋社長から北陸新幹線の敦賀以西ルートについて、「小浜ルート案」を提案されました。それにより、私たちの重要な交通機関である湖西線が「並行在来線」として扱われるかもしれないという点について、驚きと憤りを禁じ得ません。滋賀県を通らないのに、湖西線が「並行在来線」で経営分離されることは、絶対に認められないことです。これからも、反対の活動を続けます。

## 高島市立広瀬小学校 閉校式(3/27)

明治19年に「簡易科広瀬小学校」と「簡易科古賀小学校」が創立され、129年の歴史と卒業生約5,300人を輩出された高島市立広瀬小学校の閉校式が3月27日に行われました。多い時で生徒数350人おりましたが、今年度末で在校生35人となり、市として苦渋の選択をされました。新しい環境のもと生徒の皆さんの健やかな成長を心からお祈り申し上げます。



## 国道161号青柳北交差点 立体化完成式典(3/27)

国道161号の青柳北交差点の立体化が完成し、地元青柳区、上小川区の住民の皆様をはじめ、国土交通省近畿整備局、滋賀県、高島市など多くの関係者の方々がご集まりになり、盛大に式典が開催されました。今後、安曇川工区の南の方も来年度計画が進む予定です。それぞれの工区が早く進みますように努力してまいります。



## 高島市立広瀬小学校 閉校式



